



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 榎本 修三 TEL 06-6203-4773
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,359	0.3	2,270	58.8	2,299	59.2	1,441	74.0
26年3月期第2四半期	14,311	4.2	1,429	△23.3	1,444	△18.8	828	△21.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,984百万円 (65.3%) 26年3月期第2四半期 1,200百万円 (74.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	45.75	—
26年3月期第2四半期	26.29	—

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	35,653	27,925	78.3	886.29
26年3月期	33,854	26,152	77.2	829.97

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 27,921百万円 26年3月期 26,148百万円

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成27年3月期(予想) 期末配当金については、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株を5株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	9.1	4,150	17.3	4,150	15.7	2,550	12.9	80.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成27年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株を5株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	31,511,000株	26年3月期	31,511,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,955株	26年3月期	6,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	31,504,601株	26年3月期2Q	31,505,230株

当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「発行済株式数（普通株式）」を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（株式分割について）

当社は、平成26年9月12日開催の取締役会決議により、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。これに伴う、平成27年3月期の配当予想および業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策により円安や株高が進み、企業収益および雇用・所得環境の改善が見られました。一方、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順、輸入物価の上昇を受けた国内物価上昇懸念等、依然として先行き不透明な状況も見られます。また、世界経済は、中国の経済成長率鈍化傾向は顕在化しているものの、他のアジア地域では概ね緩やかな景気回復が続いています。米国経済は、年初からの異例の寒波による落ち込みからの持ち直しから底堅く推移し、欧州各国の信用不安も収束しつつあり、総じて緩やかな回復傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化を進めるとともに、顧客のニーズに合わせた商品開発と開発部門と一体となった国内外での積極的な営業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は143億59百万円（前年同期比0.3%増、47百万円増）となりました。営業利益は22億70百万円（同58.8%増、8億40百万円増）、経常利益は22億99百万円（同59.2%増、8億55百万円増）、四半期純利益は、14億41百万円（同74.0%増、6億13百万円増）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が92億55百万円（前年同期比6.4%減、6億32百万円減）、営業利益は10億25百万円（同5.8%増、55百万円増）となりました。

前連結会計年度に引き続き主要原料価格および輸入仕入価格上昇に対応した販売価格改定を進め、国内外での当社製商品の販売は堅調に推移しました。しかしながら、前連結会計年度中に一部子会社を売却したことにより、売上高は前年同期を下回りました。一方、営業利益については、海外子会社財務諸表の数値が円安効果により円換算で増加したこと、継続的に価格改定を進めたこと、および各種コスト削減に努めた結果、前年同期を上回りました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が51億3百万円（前年同期比15.4%増、6億79百万円増）、営業利益は16億24百万円（同96.6%増、7億98百万円増）となりました。

主力製品である超高純度コロイダルシリカ関連では、パソコン需要の持ち直しやスマートフォンやタブレット等の旺盛な需要に牽引された半導体市場の安定した成長により、当社製品の出荷も好調でありました。また、半導体プロセスの微細化に伴った当社製品への需要も高く、売上高・営業利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億99百万円増加し、356億53百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有形固定資産の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、77億27百万円となりました。これは主に、借入金の減少および支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ17億73百万円増加し、279億25百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年7月11日のプレスリリースで公表しました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、退職給付会計基準)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、退職給付適用指針)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、計算に用いる割引率は従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産が18百万円減少し、退職給付に係る負債が1億12百万円増加しております。また、繰延税金資産が46百万円増加し、利益剰余金が84百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551,117	4,777,144
受取手形及び売掛金	7,633,835	7,308,461
商品及び製品	5,299,666	5,694,906
仕掛品	245,684	337,327
原材料及び貯蔵品	1,153,034	966,683
繰延税金資産	323,177	349,013
その他	292,262	556,945
貸倒引当金	△6,282	△5,865
流動資産合計	18,492,497	19,984,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,229,320	6,192,920
機械装置及び運搬具(純額)	3,424,135	2,958,617
土地	3,058,068	3,064,241
建設仮勘定	317,054	1,048,691
その他(純額)	419,366	448,295
有形固定資産合計	13,447,945	13,712,766
無形固定資産	301,976	297,713
投資その他の資産		
投資有価証券	799,525	848,455
長期前払費用	21,972	21,850
繰延税金資産	507,863	538,311
その他	413,658	389,216
貸倒引当金	△131,364	△139,356
投資その他の資産合計	1,611,655	1,658,477
固定資産合計	15,361,577	15,668,957
資産合計	33,854,074	35,653,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,372,767	1,655,952
短期借入金	1,588,150	1,371,200
未払金	1,399,067	1,332,557
未払法人税等	403,826	683,853
賞与引当金	315,515	358,738
役員賞与引当金	44,000	22,000
その他	322,869	471,358
流動負債合計	5,446,196	5,895,660
固定負債		
長期借入金	586,000	—
繰延税金負債	315,693	350,370
退職給付に係る負債	1,201,612	1,335,488
資産除去債務	9,417	9,417
その他	142,569	136,763
固定負債合計	2,255,293	1,832,039
負債合計	7,701,489	7,727,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	21,974,505	23,205,518
自己株式	△3,019	△3,690
株主資本合計	24,818,896	26,049,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288,966	319,080
繰延ヘッジ損益	4,840	—
為替換算調整勘定	1,035,615	1,553,555
その他の包括利益累計額合計	1,329,423	1,872,635
少数株主持分	4,265	4,001
純資産合計	26,152,585	27,925,875
負債純資産合計	33,854,074	35,653,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,311,573	14,359,112
売上原価	9,318,152	9,118,944
売上総利益	4,993,421	5,240,168
販売費及び一般管理費	3,563,778	2,969,885
営業利益	1,429,643	2,270,282
営業外収益		
受取利息	4,532	4,027
受取配当金	9,592	10,563
受取手数料	7,376	7,742
為替差益	14,723	—
その他	15,979	31,303
営業外収益合計	52,205	53,637
営業外費用		
支払利息	35,653	12,106
為替差損	—	9,540
その他	2,111	2,651
営業外費用合計	37,765	24,298
経常利益	1,444,083	2,299,621
特別利益		
固定資産売却益	414	1,158
特別利益合計	414	1,158
特別損失		
固定資産売却損	—	226
固定資産除却損	4,803	9,142
投資有価証券評価損	5,389	—
特別損失合計	10,193	9,369
税金等調整前四半期純利益	1,434,304	2,291,411
法人税、住民税及び事業税	594,484	844,228
法人税等調整額	15,222	5,462
法人税等合計	609,707	849,690
少数株主損益調整前四半期純利益	824,597	1,441,720
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,905	136
四半期純利益	828,503	1,441,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	824,597	1,441,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,965	30,113
繰延ヘッジ損益	1,288	△4,840
為替換算調整勘定	339,678	517,939
その他の包括利益合計	375,931	543,212
四半期包括利益	1,200,528	1,984,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,204,434	1,984,796
少数株主に係る四半期包括利益	△3,905	136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,434,304	2,291,411
減価償却費	767,574	951,170
固定資産除却損	4,803	9,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△231	△687
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,598	41,832
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△22,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40,459	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	32,124
受取利息及び受取配当金	△14,125	△14,591
支払利息	35,653	12,106
為替差損益(△は益)	△17,093	30,358
固定資産売却損益(△は益)	△414	△932
投資有価証券評価損益(△は益)	5,389	—
売上債権の増減額(△は増加)	169,384	429,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	△482,643	△175,058
仕入債務の増減額(△は減少)	456,444	255,185
未払金の増減額(△は減少)	△55,882	△14,226
長期未払金の増減額(△は減少)	△2,790	—
その他	△178,107	127,644
小計	2,160,324	3,953,254
利息及び配当金の受取額	12,909	13,455
利息の支払額	△34,364	△10,103
法人税等の支払額	△898,341	△586,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,240,528	3,370,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△45,834
定期預金の払戻による収入	—	310,800
有価証券の取得による支出	—	△233,100
有形固定資産の取得による支出	△404,982	△1,068,750
有形固定資産の売却による収入	414	2,726
無形固定資産の取得による支出	△32,587	△13,484
投資有価証券の取得による支出	△2,639	△2,543
長期貸付金の回収による収入	205	270
その他	△16,092	1,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△455,682	△1,048,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,509,200	△802,950
自己株式の取得による支出	—	△671
配当金の支払額	△94,195	△126,432
少数株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△5,295	△5,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,609,091	△936,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	75,246	101,113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△748,999	1,486,374
現金及び現金同等物の期首残高	4,606,035	3,242,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,857,036	4,728,731

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,887,739	4,423,834	14,311,573	—	14,311,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,513	102	8,616	△8,616	—
計	9,896,253	4,423,937	14,320,190	△8,616	14,311,573
セグメント利益	969,683	826,710	1,796,393	△366,750	1,429,643

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△379,284千円、その他12,534千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,255,683	5,103,429	14,359,112	—	14,359,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,947	107	32,054	△32,054	—
計	9,287,631	5,103,536	14,391,167	△32,054	14,359,112
セグメント利益	1,025,478	1,624,935	2,650,413	△380,131	2,270,282

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△383,511千円、その他3,380千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。